

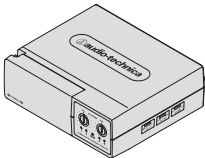
取扱説明書

audio-technica

赤外線コードレスレシーバー

AT-CR7000

お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、いつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。



- マイクロホンを最大 4 本使えるチャンネルを用意
(本製品を 2 台同時に使用した場合)
- 高性能かつコンパクトボディ
- デジタル処理によりクリアな音質を実現
- 高性能受光素子を採用し、受光ユニットの設置数低減と薄型化を実現
 - ・本製品は当社赤外線コードレスマイクロホン(別売)と組み合わせて使用する必要があります。対応製品については当社のホームページをご覧ください。
 - ・2 台のレシーバーで受光ユニットを共通使用する場合は、専用カスケードケーブル(別売)を使用する必要があります。

同梱品を確認する

本製品をご使用になる前に、下記同梱品がすべてそろっていることを確認してください。万一、同梱品に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社窓口までご連絡ください。

- 赤外線コードレスレシーバー(AT-CR7000)
 - ※受光ユニット(AT-SRX)取り付け済み
- AC アダプター
- 接続ケーブル(RCA ピンプラグ(赤白) - RCA ピンプラグ(赤白)、1.5m)
- 取扱説明書・保証書付き・(本書)

audio-technica		保証書		持込修理
型番	AT-CR7000			
ご購入日	月	年	月	日
保証期間	ご購入日より 1 年			
フリガナ ご氏名				
お住所				

転載不可

安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

- ⚠ **警告** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
- ⚠ **注意** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体について

- ⚠ **警告**
 - 付属のACアダプター以外使用しない
故障、不具合の原因になります。
 - 本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない
感電、故障や火災の原因になります。
 - 同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない
事故や火災の原因になります。
 - 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気づいたら使用しない
異常に気づいたら、お買い上げの販売店が当社窓口へ修理を依頼してください。
 - 分解や改造はしない
感電、故障や火災の原因になります。
 - 強い衝撃を与えない
感電、故障や火災の原因になります。
 - 濡れた手で触れない
感電やけがの原因になります。
 - 水をかけない
感電、故障や火災の原因になります。
 - 布などで覆わない
過熱による火災やけがの原因になります。

- ⚠ **注意**
 - 不安定な場所に設置しない
転倒などによりけがや故障の原因になります。
 - 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない
故障、不具合の原因になります。
 - 火気に近づけない
変形、故障の原因になります。
 - ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない
変形、故障の原因になります。
 - 密閉された狭い場所や熱がこもる場所には置かない
変形、故障の原因になります。

AC アダプターについて

- ⚠ **警告**
 - AC100V以外の電源には使用しない
(日本国内専用)
過熱による火災など事故の原因になります。
 - 本製品以外には使用しない
過熱による火災など事故の原因になります。
 - 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気づいたら使用しない
異常に気づいたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店が当社窓口へ連絡してください。
そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
 - コードは伸ばして使用する。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない
過熱による火災など事故の原因になります。
 - コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む
過熱による火災など事故の原因になります。
 - コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする
断線、故障の原因になります。
 - コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない
断線、故障の原因になります。
 - 分解や改造はしない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
 - 強い衝撃を与えない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
 - 濡れた手で触れない
感電によるけがの恐れがあります。
 - 布などで覆わない
過熱による火災など事故の原因になります。
 - プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る
過熱による火災など事故の原因になります。
 - ベンジン、シンナー、接点復活剤など薬品は使用しない
変形、故障の原因になります。

- ⚠ **注意**
 - 長時間使用しないときは、コンセントから抜く
省エネルギーにご配慮ください。
 - 通電中のACアダプターに長時間触れない
低温やけどの原因になることがあります。
 - 足に引っかかりやすい場所にコードを引き回さない
故障や事故の原因になります。

使用上の注意

- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 天井に受光ユニットを設置する際は、窓または壁から約 2 ～ 3m 離して設置してください。
- 壁に受光ユニットを設置する際は、直射日光、スポットライト、白熱電灯などの光が受光ユニットに入らないように設置してください。
- マイクロホンは、受光ユニットから 1.5m 以上離して使用してください。誤動作や雑音が発生する恐れがあります。
- 下記の近くには設置しないでください。システムの動作不良やノイズ発生の原因となる場合があります。その場合は、正常に動作する場所まで離して設置してください。

- ・照明装置
- ・プロジェクター(液晶や DLP など)、OHP、白熱電球など
- ・水銀灯、ハロゲン灯、インバータ式蛍光灯、ブラックライト
- ・プラズマディスプレイ
- ・リモコン、赤外線 LAN などの赤外線機器
- ・調光器
- ・デジタルパワーアンプなどのデジタル機器本体およびその配線(スピーカー出力など)

- ケーブルの配線上に大型電気機器があると、ノイズが発生する可能性があります。その場合は、ノイズが発生しなくなるまで離して配線してください。
- ケーブルの配線時に、ケーブルを切断して再接続や継ぎ足し接続は行わないでください。ノイズが発生する場合があります。

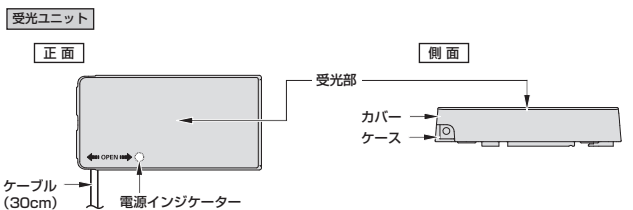
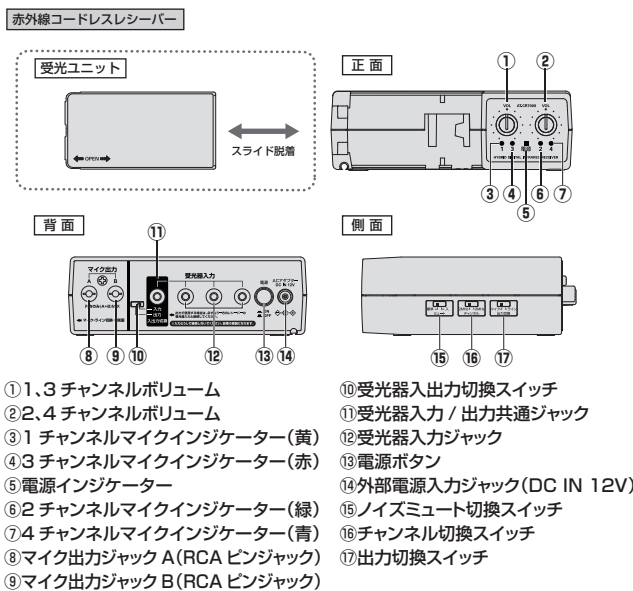
コードレスシステムについて

- 本製品 1 台で赤外線コードレスマイクロホン 2 本の同時使用が可能です。また本製品を 2 台同時に使用することで、マイクロホン 4 本の同時使用が可能です。
- 赤外線コードレスマイクロホンを複数本同時に使用する際は、本製品のチャンネルに対応したマイクロホンを使用してください。
- ・同じチャンネルのコードレスシステムを同時に使用できません。
- ・受光ユニットとマイクロホンは 1.5m 以上離して使用してください。誤動作や雑音が発生する恐れがあります。
- ・周辺にテレビやデジタル機器がある場合は離して使用してください。電波の干渉やノイズの影響を受ける場合があります。

■使用例



各部の名称



受光ユニットの脱着のしかた

- ・受光ユニットを脱着する際は、底面の溝からケーブルを抜き、挟まないように行ってください。断線の原因になることがあります。

- 《外しかた》
受光ユニットを左にスライドさせます。
- 《装着のしかた》
①レシーバーのツメと、受光ユニットの溝を合わせます。(3 か所)
②受光ユニットを、「カチッ」と音がするまで右にスライドさせます。

受信周波数

本製品は下記のチャンネル(周波数)に対応しています。

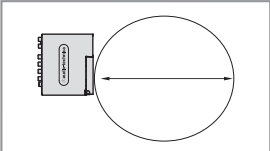
- ・下記チャンネル以外には対応していません。

1ch	2.06MHz	3ch	3.20MHz
2ch	2.56MHz	4ch	3.70MHz

受信範囲

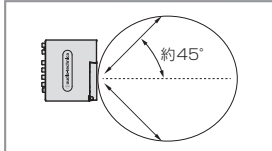
- 受信範囲は、製品の組み合わせや設定、室内の状況などにより変わります。
- 下記は以下の製品を組み合わせた例です。
 - ・レシーバー:AT-CR7000 ・受光ユニット:AT-SRX ・マイクロホン:AT-CLM7000TX

■正面方向



		ノイズミュート切換スイッチ	
		標準	入
出力切換スイッチ	HI	約16m	約9m
	LO	約12m	約7m
	ECO	約10m	約5m

■斜め方向(約45°の場合)



		ノイズミュート切換スイッチ	
		標準	入
出力切換スイッチ	HI	約11m	約6m
	LO	約8m	約5m
	ECO	約7m	約3m

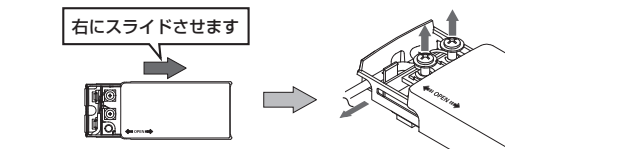
- ・マイクロホンの出力切換スイッチ (HI / LO / ECO) と本製品のノイズミュート切換スイッチ (標準 / 入) を切り換えると受信範囲が変わります。
- ・受光ユニットは正面に最大感度を持っているため、天井よりも壁に設置するほうがより効果的です。
- ・直射日光、スポットライト、白熱電灯などの光が受光ユニットに入ると、大幅に受信範囲が狭くなります。

受光ユニットケーブルの変更のしかた

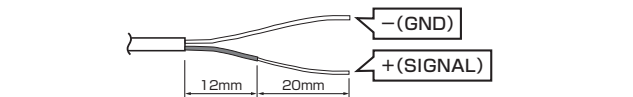
受光ユニットのケーブルを変更する場合は、下記の手順に従ってください。

- ・必ずケーブルのプラグをレシーバーから抜いた状態で行ってください。ケーブルを接続した状態で作業を行うとショートし、火災や故障の原因になります。
- ・必ず本製品専用のケーブルを使用してください。別のケーブルを使用すると、ノイズ発生や受信不良の原因となります。

- ①カバーをスライドさせ、ケーブルを固定しているねじを 2 本とも緩め、ケーブルを外します。



- ・ねじが抜けないように注意してください。
- ②ケーブル長を変更する場合はケーブルを適切な長さで切断し、先端の被覆を下図の長さを目安に剥がします。



- ・受光ユニットを複数台設置する場合は、ケーブル長をそろえると受光感度が良くなります。
- ・ケーブルを切断した場合、元々の先端部分は廃棄してください。

- ③ケーブルを図の位置に押し込み、固定します。



- ・ピンセットの背などで、しっかり押し込んでください。

- ④ケーブルを極性通りに配線し、ねじを 2 本とも締めます。

- 新しいケーブルを切断せずに取り付ける場合
・先端の Y 字端子をねじに取り付けます。
- ケーブルを切断した場合
・導線をねじに取り付けます。



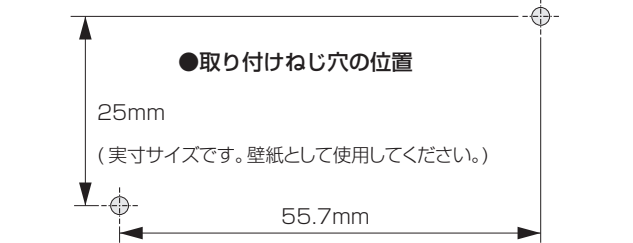
- ・「+(SIGNAL)」側を先に取り付けてから、「-(GND)」側を取り付けてください。
- ・極性を確認して取り付けてください。
- 「-(GND)」側 : シールド (太い導線)
- 「+(SIGNAL)」側 : 芯線 (導体が細く黄色い被覆)
- ・ケーブル同士が接触していたり、端子以外の部分に接触するとショートし、故障の原因になります。

- ⑤カバーをスライドさせます。
 - ・カバーをしっかりとめした後、隙間がないかを確認してください。

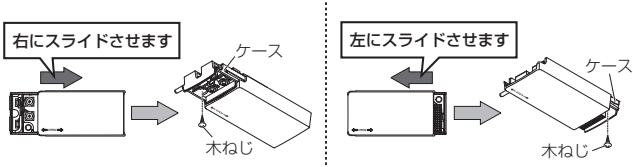
受光ユニットの設置のしかた

- 天井や壁に穴を開けて設置する際の手順になります。
- ブラストライバーと別売の受光ユニットに付属している木ねじを用意します。
- 受光ユニットは、障害物がなく見通しの良い場所で、マイクロホンから直視可能な場所に設置します。

①受光ユニットの取り付け位置を決め、ねじ穴の箇所を鉛筆などで目印を付けます。



②受光ユニットのカバーをスライドさせ、木ねじをケースに通して天井や壁などに取り付けます。



③カバーをスライドさせます。

・カバーをしっかりとはめた後、隙間がないかを確認してください。

⚠注意
●本製品のケーブルを壁などに固定する場合、強い力で固定すると断線する恐れがあります。
●取り付け場所の材質、強度、厚さなどを十分に確認してください。強度不足、取り付け不備による落下などの事故や損害が発生した場合、当社は一切責任を負いません。

ケーブルの配線について

壁内や天井内にケーブルを配線する場合、ケーブルを切断して再接続や継ぎ足し接続は行わないでください。ノイズ発生や受信不良の原因となります。

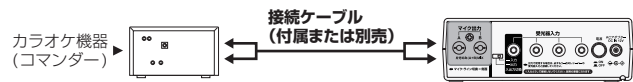


接続のしかた

接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

①付属のACアダプターを本製品の外部電源入力ジャック(DC IN 12V)と接続し、AC100Vコンセントと接続します。

②付属または別売の接続ケーブルを、本製品のマイク出力ジャックとカラオケ機器などの接続機器側の入力端子に接続します。



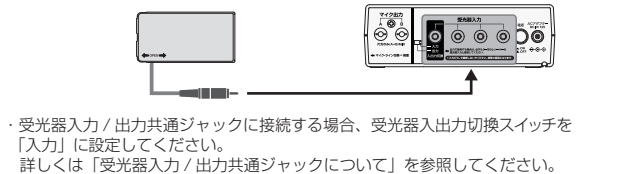
- 接続機器のライン入力に接続する場合
付属の接続ケーブル(RCAピンプラグ(赤白) - RCAピンプラグ(赤白)、1.5m)を使用してください。一方を本製品のマイク出力ジャックに、もう一方を接続機器のライン入力に接続してください。
- 接続機器のマイク入力に接続する場合
別売の接続ケーブル(RCAピンプラグ - φ6.3mmモノラル標準プラグ(L型))を使用してください。RCAピンプラグを本製品のマイク出力ジャックに接続し、φ6.3mmモノラル標準プラグ(L型)を接続機器のマイク入力に接続してください。

・マイク出力ジャックの一方だけにケーブルを接続すると、マイク出力Aとマイク出力Bのミックス出力となります。ミックス出力にしない場合は、両方のマイク出力ジャックにケーブルを接続してください。

③本製品の出力切換スイッチを切り換えます。

- ・接続機器のマイク入力に接続した場合はマイク側、ライン入力に接続した場合はライン側にしてください。
- ・工場出荷時は「マイク」に設定されています。

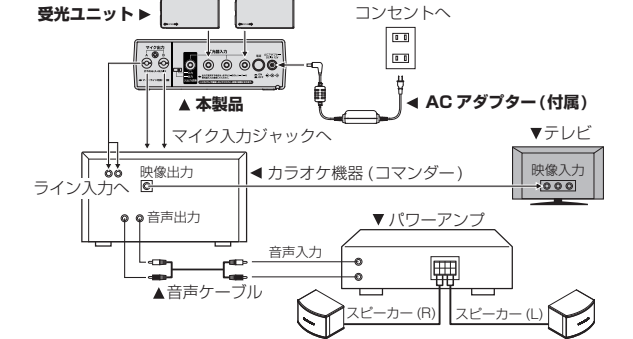
④受光ユニットから出ているケーブルを、本製品の受光器入力ジャックまたは受光器入力/出力共通ジャックへ接続します。



⑤レシーバーをラックの上などに置きます。

⚠注意
●マイク出力ジャック、受光器入力/出力共通ジャックと受光器入力ジャックの付け違いには充分ご注意ください。間違った接続をすると火災や故障の原因になります。(マイク出力ジャックは「白」、受光器入力/出力共通ジャックと受光器入力ジャックは「黒」で区別されています。)
●必ず本製品専用のケーブルを使用してください。別のケーブルを使用すると、ノイズ発生や受信不良の原因になります。
●受光器入力出力切換スイッチを「出力」に設定した状態で、受光器入力/出力共通ジャックに受光ユニットを接続しないでください。故障の原因になります。

■接続例



- ・本製品に受光ユニットは1台付属しています。
- ・受光ユニットは最大4台まで接続することができます(本製品の受光器入力出力切換スイッチを「入力」に設定した場合)。「出力」に設定した場合、受光ユニットは3台まで接続することができます。

使いかた

- ①本製品の電源ボタンを押して、電源をONにします。
 - ・本製品の電源インジケーターは、チャンネル切換スイッチが2MHzのときは赤色に、3MHzのときは緑色に点灯します。
 - ・受光ユニットの電源インジケーターは青色に点灯します。
- ②受光ユニットがマイク信号を受信すると、対応するチャンネルマイクインジケーターが点灯します。
- ③各チャンネルボリュームを回して音量を調整します。

受信チャンネル、マイク出力について

チャンネル切換スイッチを切り換えることで、受信チャンネルとマイク出力の設定が下表のように切り換わります。

チャンネル 切換スイッチ	受信チャンネル	マイク出力
2MHz	1, 2ch	1ch 2ch
3MHz	3, 4ch	3ch 4ch

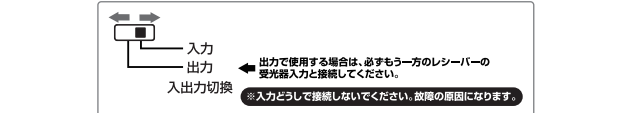
- ・工場出荷時は「2MHz」に設定されています。
- ・マイク出力ジャックの一方だけにケーブルを接続すると、マイク出力Aとマイク出力Bのミックス出力となります。ミックス出力にしない場合は、両方のマイク出力ジャックにケーブルを接続してください。

受光器入力/出力共通ジャックについて

受光器入力出力切換スイッチを切り換えることで、受光器入力/出力共通ジャックを「入力」か「出力」に設定することができます。

受光ユニットを接続して通常使用する場合は「入力」に、受光ユニットの共通使用を行うために別売の専用カスケードケーブルを接続する場合は「出力」に設定します。

- ・工場出荷時は「入力」に設定されています。



ノイズミュート設定について

使用時に音の途切れノイズが気になる場合は、ノイズミュート切換スイッチを「入」にします。受信範囲は狭くなりますが、ノイズは少なくなります。

- ・工場出荷時は「標準」に設定されています。



受光ユニットの共通使用について

本レシーバーを2台使用することで、受光ユニットを共通で使用できます。

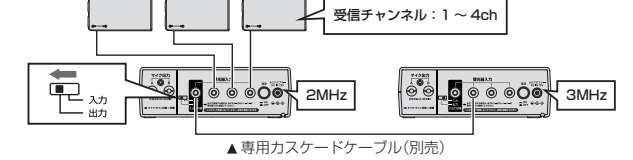
受光ユニットを共通にすると、各々のレシーバーで設定したチャンネルが受信できます。

- ・必ず別売の専用カスケードケーブル(RCAピンプラグ - RCAピンプラグ)を使用してください。
- ・共通使用できる受光ユニットは最大4台です。
- ・マイク出力は共通で使用できません。各々のレシーバーの出力になります。
- ・本製品と本製品以外のレシーバーを接続する場合は、お買い上げの販売店または当社窓口までお問い合わせください。
- ・AT-SRX以外の受光ユニットを使用すると感度が落ちる場合があります。

＜受光ユニット3台までの場合＞

- ①各々のレシーバーのチャンネル設定を「2MHz」と「3MHz」に設定します。
- ②受光器入力出力切換スイッチを「出力」に設定したレシーバーの受光器入力/出力共通ジャックと、もう一方のレシーバーの受光器入力ジャックを別売の専用カスケードケーブルで接続します。
 - ・必ず別売の専用カスケードケーブルを使用してください。
- ③受光器入力/出力共通ジャックにケーブルを接続したレシーバーに、受光ユニットを接続します。
 - ・受光器入力/出力共通ジャックにケーブルを接続したレシーバーのみ、受光ユニットを共通で使用できます。もう一方のレシーバーは受光ユニットを共通で使用できません。

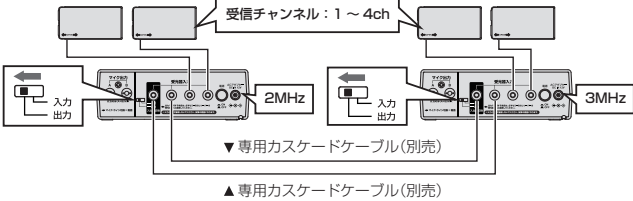
■接続例



＜受光ユニット4台の場合＞

- ①各々のレシーバーのチャンネル設定を「2MHz」と「3MHz」に設定します。
- ②両方のレシーバーの受光器入力出力切換スイッチを「出力」に設定します。
- ③お互いのレシーバーの受光器入力ジャックと、受光器入力/出力共通ジャックを別売の専用カスケードケーブル2本で接続します。
 - ・必ず別売の専用カスケードケーブルを使用してください。
- ④受光ユニットを、各々のレシーバーに接続します。
 - ・両方のレシーバーで、接続した受光ユニットを共通で使用できます。

■接続例



⚠注意
●別売の専用カスケードケーブル以外を使用すると、受信感度の低下や雑音、故障の原因になります。
●別売の専用カスケードケーブルをほかの用途に使用しないでください。故障の原因になります。
●必ず受光器入力/出力共通ジャックと受光器入力ジャックを接続してください。間違った接続をすると、受信感度の低下や雑音、スピーカーの破損の原因になります。
●受光器入力出力切換スイッチを「出力」に設定した状態で、受光器入力/出力共通ジャックと受光ユニットを接続しないでください。故障の原因になります。
●受光器入力出力切換スイッチを「入力」に設定した状態で、受光器入力/出力共通ジャックと受光器入力ジャックを接続しないでください。故障の原因になります。

故障かな？と思ったら

以下の項目を参考にしてください。それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店または当社窓口までお問い合わせください。

Q. 電源が入らない	A1：ACアダプターが外れていませんか？
	A1：出力切換スイッチは正しい出力に設定されていますか？
	A2：接続した機器の音量を絞っていませんか？
Q. 音声がでない	A3：受光器入力ジャックとマイク出力ジャックの配線は間違っていないですか？

Q. 受信しない音にノイズが入る音が途切れる	A1：受光ユニットとマイクロホンの間に障害物がありますか？
	A2：受光ユニットとマイクロホンの距離が離れすぎていませんか？
	A3：デジタル機器などのノイズ源となるものの近くに設置していませんか？詳しくは「使用上の注意」を参照してください。
	A4：ケーブル配線時に、ケーブルのプラグ付近で切断後、再接続や継ぎ足し接続をしていませんか？詳しくは「ケーブルの配線について」を参照してください。
	A5：本製品専用のケーブルを使用していますか？別のケーブルを使用すると、ノイズ発生や受信不良の原因となります。
	A6：受光ユニット内部の端子付近でケーブル同士が接触しているたり、端子以外の部分に接触していませんか？
	A7：レシーバーを2台同時に使用し接続している場合、ケーブルは正しく接続されていますか？詳しくは「受光ユニットの共通使用について」を参照してください。

テクニカルデータ

チャンネル数	：2チャンネル(2台使用時、最大4チャンネル)
受信周波数	：1ch(2.06MHz)、2ch(2.56MHz)、3ch(3.20MHz)、4ch(3.70MHz)
出力レベル	：マイク -45dBV(VOL MAX時)、ライン -30dBV(VOL MAX時)
電源	：DC12V,500mA(付属のACアダプターを使用、日本国内専用)
消費電力	：約4.0W(受光ユニット4台接続時)
外形寸法	：H41×W126×D106mm
質量	：約260g
付属品	：ACアダプター(AD-SL1205A0)、 接続ケーブル(RCAピンプラグ(赤白) - RCAピンプラグ(赤白)、1.5m)

改良などのため予告なく変更することがあります。

製品保証および修理などにつきましては、お買い上げの販売店または当社ホームページ記載の各営業所までお問い合わせください。

株式会社オーディオテクニカ

https://www.audio-technica.co.jp/amz/ ver.1 2016.08.15
142315390-01-02 ver.2 2021.05.15

オーディオテクニカ製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

お買い上げの製品に万一異常が生じた場合は、この保証書の規定により保証期間内に限り無料で修理させていただきます。修理の際にはこの保証書をご提示願いますので大切に保存してください。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために、大切に保管ください。

なお、保証期間経過後も責任をもって修理いたしますが、その際は有料となりますのでご了承ください。本製品の基本性能を維持するために必要な部品(補修用性能部品)の最低保証有年限は製造打切後6年です。

保証規定 (必ずお読みください)

保証期間中に取扱説明書に従った、正常なご使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。ご購入後の修理に関しては、お買い上げ先までお問い合わせください。また修理の際、オーディオテクニカの判断で製品交換させていただくことがありますのでご了承ください。以下の場合には保証期間内でも修理実費をいただき、故障の状況

転載不可

商品、および接続した機器のブランドやメーカーなどは、補償の対象外となります。

修理品の送料

●保証の期間内、期間経過後を問わず、修理・検査のために製品を郵送、託送される場合は、お客様に送料をご負担いただきますのでご了承ください。製品は、輸送中の事故がないよう、元通りに梱包してお送りください。

修理品の保証

●修理後、同一個所に同一の故障を生じた場合は、保証期間を超過しても修理完了日より3ヶ月以内に限り無料で修理いたします。

その他

- ①この保証書の記載内容によってお客様の法律上の権利が制限されるものではありません。
- ②この保証書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- ③本保証書は再発行いたしませんので、紛失などしないよう大切に保管してください。